

園児たちとクリスマス交流会

12月17日、高木保育園（本田恵美子園長、66人）の年長・年中児22人が、老人ホームオアシスを訪問し、約40人の利用者と交流しました。交流は、毎年保育園の発表会后、クリスマスの時期にあわせて行われています。園児たちは、ユニフォーム姿など、さまざまな衣装を着て、元気よくダンスを披露しました。また、肩たたきやジャンケンなどのゲームを楽しみ、手作りのクリスマスプレゼントを利用者にプレゼントしました。



様々な衣装で登場した園児たち



生け花づくりに挑戦する参加者

お正月用に生け花づくり

12月26日、がん患者や患者の家族らの体験や思いを語る場として毎月開催されている「みふねがんサロンいきいき茶論」で、正月用の生け花づくりが行われ、16人が参加しました。参加者は、生け花に活ける花の意味などを聞いた後、それぞれ生け花を楽しみました。同サロンでは、毎月、音楽鑑賞や芋ほりなど様々な内容を企画し、がん患者や支援者と楽しく交流しています。

詳しくは代表世話人の馬場まで
(☎090-7533-4944)

学校にミニ門松づくり

12月25日、町内の小中学校の用務員6人が、御船小学校でミニ門松作りを行いました。門松作りは昨年、用務員研修会で話が出たことがきっかけで始まり、今年で2回目。竹などは用務員が準備し、持ち寄った松やパンジー、ナンテンやリュウノヒゲなどのさまざまな花が寄せ植えされました。できあがった可愛らしい門松は、各小中学校に飾られました。



完成したミニ門松は各小中学校に飾られた

年末の安全を守る

12月28日から30日まで、町消防団（石坂浩秋団長、389人）が年末警戒を行いました。年末警戒は、毎年、年末の火災が多くなる時期に、消防団員が各詰所などに集まり、泊まり込みで警戒を行います。団員たちは、積載車で広報活動を行い、火災予防を呼びかけました。年末警戒中は、山本町長や御船警察署副署長、上益城消防署長、消防団の幹部たちが、全詰所を訪問し団員たちを激励しました。



年末警戒で団員たちを激励する石坂団長

続く伝統行事 玉虫節頭まわし

五穀豊穡や無病息災を山の神に感謝して、一升三合三尺（約2.4ℓ）の大杯に注がれた酒を飲み干す祭り「節頭回し」が12月7日、玉虫公民館で行われ、約30人が参加しました。祭りは、江戸時代から続けられており、玉虫地区の上組・中組・下組に分かれた男衆が、年輩者から順番に酒を飲み、最後の一人が飲み干したあと大杯を頭にかざします。最後のひとりが酒を飲み干し、大杯を頭にかざすと参加者からは盛んな拍手が送られました。



酒を飲み干し、大杯を頭にかざす参加者



大田黒浩一さんによる記念講演

いろんな視点から健康を考える

12月7日、町カルチャーセンターを中心に「みふねいきいきフェスタ2014～あなたの元気は未来のために～」が開催されました。フェスタは「赤ちゃんからお年寄りまで身体的にも精神的にも「いきいき」してもらおう」というコンセプトで昨年から行われており、今年で2回目。ホールでの講演などのほか、「健康チェックブース」「赤ちゃんハイハイ・よちよちレース」などの幅広いブースが設けられた会場では、いきいきとした笑顔の人たちでにぎわいました。

おいしい玉ねぎができますように

12月8日、七滝中央小学校（木屋秀章校長、82人）の1、2年生が、地区の住民6人と玉ねぎを植えました。昨年、玉ねぎ植えを経験したことがある2年生の児童は「簡単に早く終わったので、もう少し植えたかった」と話しました。玉ねぎ植えは、南田代第一集落の中山間事業の一環で毎年行われており、今回植えられた玉ねぎは2,000本。来年5月には500kgの収穫が予定されています。



植え方を教えてもらう児童たち

おいしいお米をいただきます

12月8日、御船小学校（本田尚一校長、322人）の3年生38人が、上田代地区の住民8人を招待し、給食交流会を行いました。交流給食で出されたお米は、5月に3年生と上田代地区の住民が、一緒に田植えを行い、10月に収穫したお米です。児童たちは、お世話になった上田代地区の人たちと交流しながら、自分たちが育てたお米をおいしく食べました。



給食を食べる児童と上田代地区の参加者